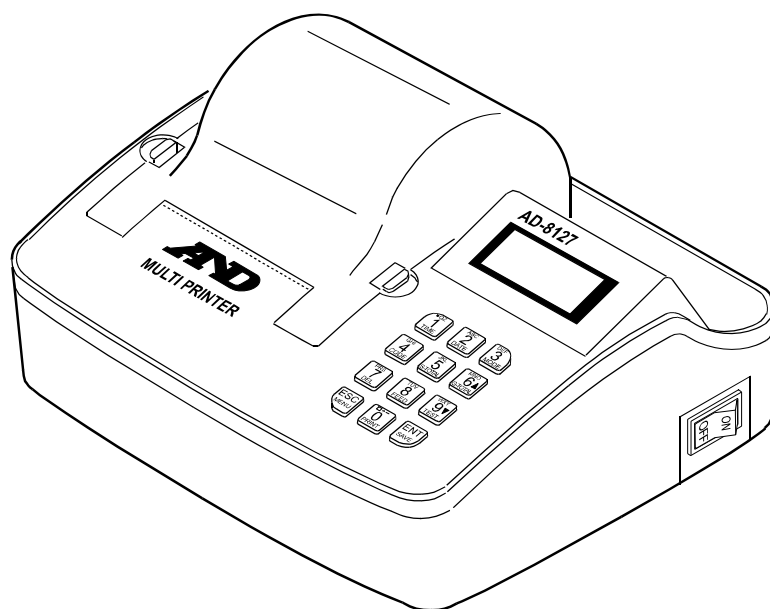


AD-8127

マルチプリンタ

取扱説明書



AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

1WMPD4003326C

注意事項の表記方法



この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。



この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

注意

正しく使用するための注意点の記述です。

お知らせ

機器を操作するのに役立つ情報の記述です。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りの弊社営業所へご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2018 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

1. はじめに	2
1-1. 特長	2
2. 製品構成（各部の名称）、梱包内容	3
2-1. 梱包内容	3
2-2. 各部の名称	4
3. 準備	5
3-1. ACアダプタの接続	5
3-2. プリンタカバーの開閉	6
3-3. インクリボンの着脱	7
3-4. プリンタ用紙の取り付け	8
3-5. テスト印字	9
3-6. 計量機器との接続	9
4. 印字	10
4-1. 計量機器からのデータ印字	10
4-2. 紙送り	10
4-3. 注意事項	10
5. キーの基本操作（基本動作）	11
6. 統計演算機能	12
6-1. 統計演算の印字例と印字内容	12
7. 基本設定	13
7-1. 時刻設定	13
7-2. 日付設定	13
7-3. 印字モード設定	14
7-4. IDコード設定	14
8. 内部設定	15
8-1. 内部設定の表示と操作キー	15
8-2. 項目一覧	16
8-3. 内部設定の初期化	18
8-4. 印字モードの解説	18
8-5. チャート印字モード	20
8-6. 外部入力コネクタの解説	21
9. パスワードロック機能	22
9-1. パスワードロック機能を有効にする	22
9-2. パスワード入力箇所	23
10. インタフェースの仕様	24
10-1. RS-232C	24
11. 保守	25
11-1. お手入れ	25
11-2. 動作確認	25
11-3. 故障かな？と思ったら	26
11-4. お困りの時は	30
11-5. 修理依頼	32
12. 仕様	33
12-1. 外形寸法図	33
12-2. 別売品	34

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのマルチプリンタ AD-8127 をお買い求めいただきありがとうございます。
この取扱説明書は AD-8127 を理解し、十分に活用していただくため、使用前によくお読みください。

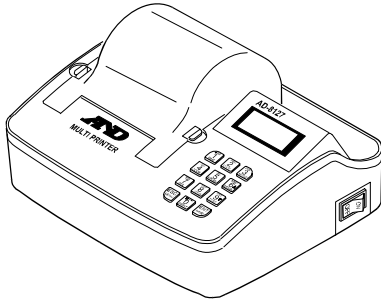
1-1. 特長

- 本機は A & D 製の電子天びん、はかり、個数計、水分計、粘度計、計量インジケータ等の計量器と接続し、計量機器から送信されたデータを印字するプリンタです。
- ドットマトリクス印字により、印字内容が鮮明で見やすく、また記録の長期保存も可能です。
- 小型・軽量のため、設置場所を選びません。また持ち運びも容易に行えます。
- データ入力は RS-232C またはカレントループとなり、電子天びん等の計量器との接続が容易に行えます。
- クリーンルーム内での印字用に、無塵紙（別売品：AX-PP173-S）を用意しています。
- 時計機能を内蔵しており、日付・時刻の印字が可能です。
- 一定時間間隔での印字（インターバル印字）が可能です。
- 計量データの標準偏差を含む統計演算結果を印字することができます。
- 計量データの時系列変化をチャート式で印字できます。
- 液晶表示により、プリンタの状態確認や設定が容易に行えます。
- プリンタのキースイッチを押すことにより、表示をゼロにするリゼロコマンドや計量データの要求コマンドを電子天びんに送信することが可能なため、高感度な電子天びんにふれることなく計量データを印字することが可能です。

2. 製品構成（各部の名称）、梱包内容

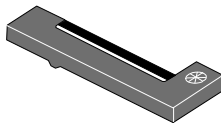
2-1. 梱包内容

本体



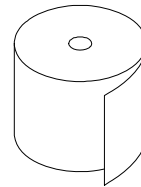
インクリボン（1個）

※印字テスト用のものが本体に装着されています。



プリンタ用普通紙（1巻）

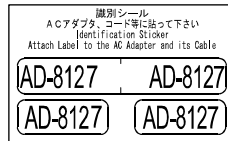
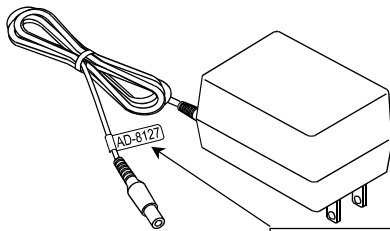
※本体に装着されています。



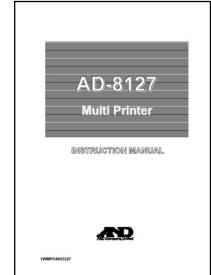
ACアダプタ（AX-TB135またはAX-TB285） ACアダプタ識別シール

和文取扱説明書（本書）

英文取扱説明書



このように付属のACアダプタにACアダプタ識別シールを貼り付けてください。



※ ACアダプタを間違えるとプリンタや計量器が正常に動作しない場合があります。

RS-232C ケーブル

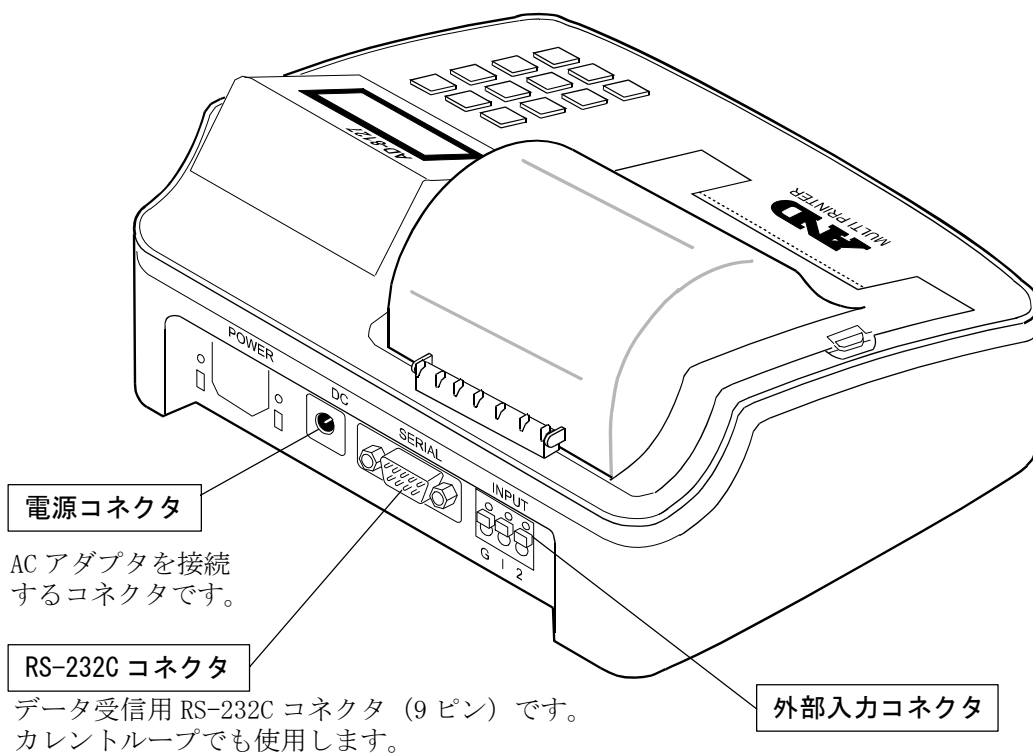
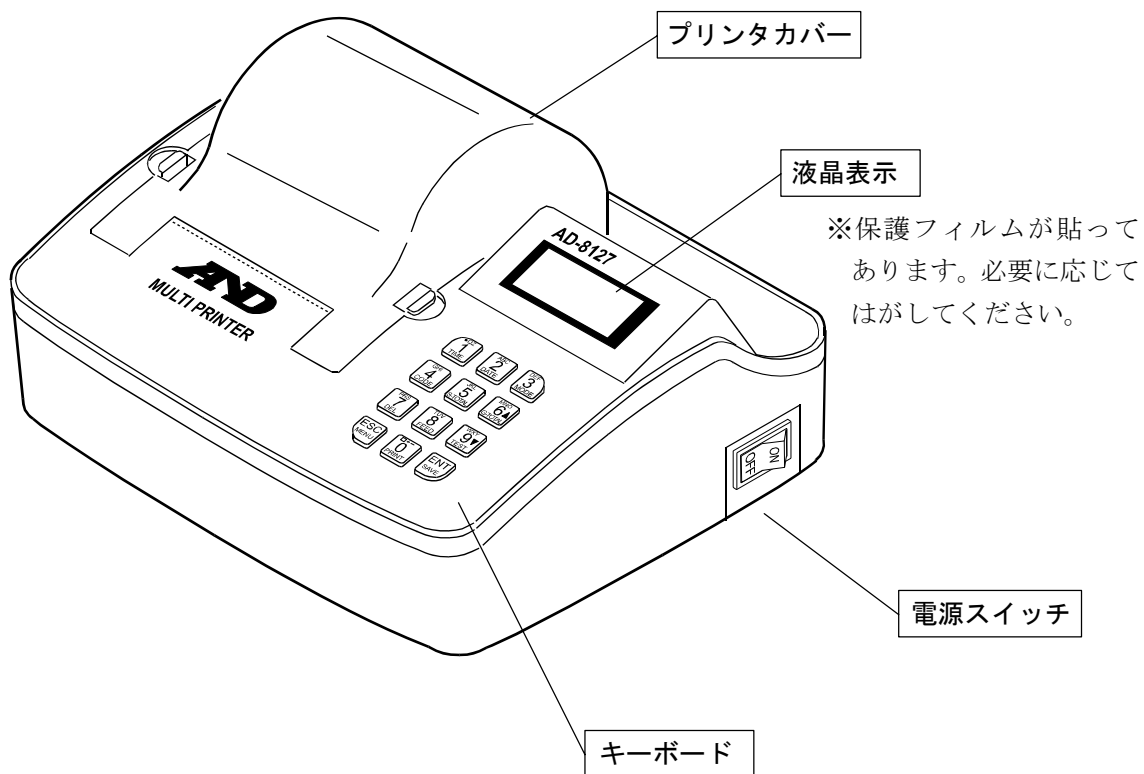
※ RS-232C ケーブルは、ご注文時の指定により以下のA、B、Cいずれかのケーブルが付属しています。

D-sub9 ピン-9 ピン (AX-K02741-100)	D-sub25ピン-9ピン (AX-K02116-090)	DIN - D-sub9ピン (AX-K01786-200)	DIN - D-sub9ピン (AX-K05291-100) ※カレントループ用
A		B	
		C	

別売品

- インクリボン （5個入り） AX-ERC-22B-S
- プリンタ用普通紙 （10巻入り） AX-PP137-S
- プリンタ用無塵紙 （10巻入り） AX-PP173-S

2-2. 各部の名称

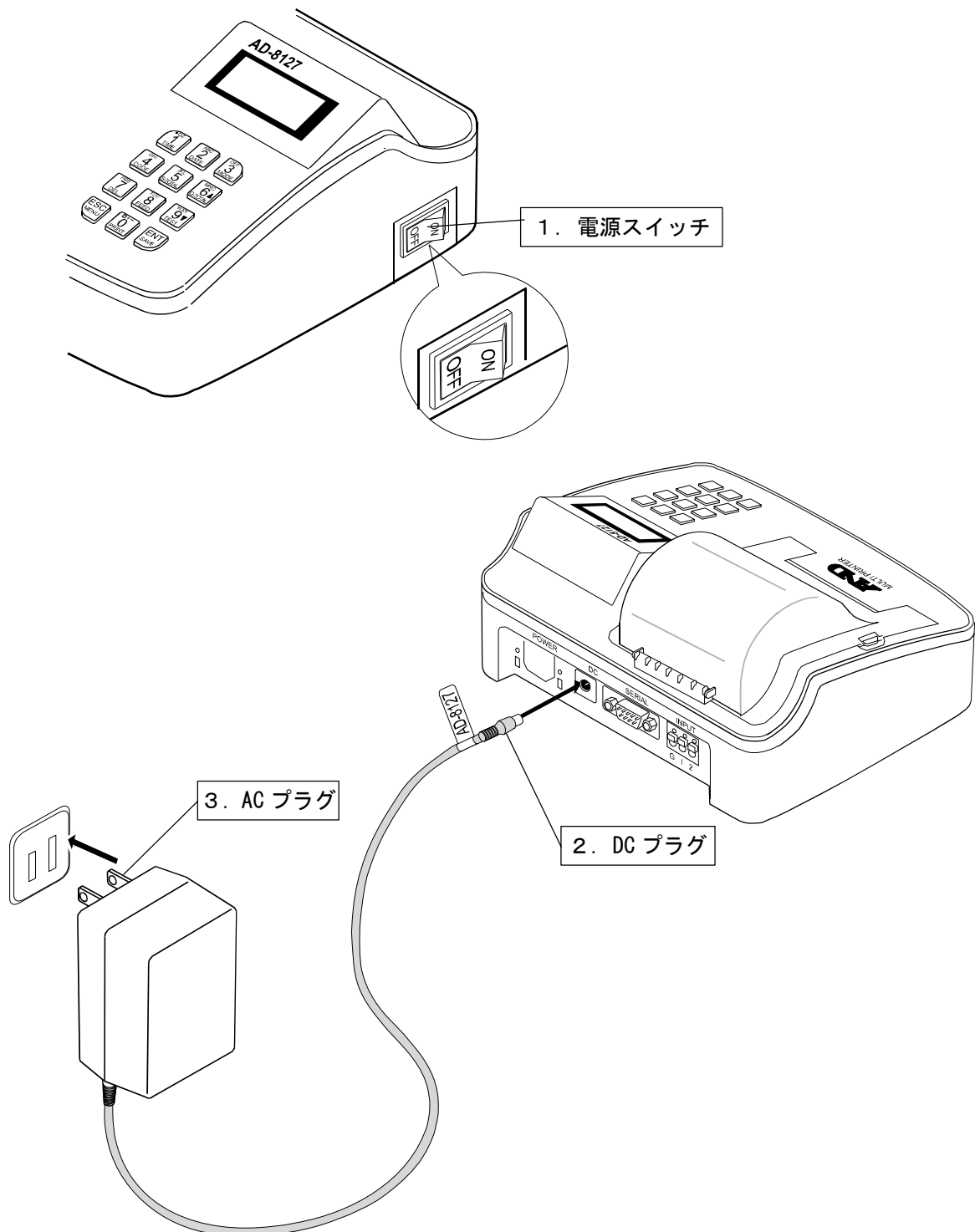


3. 準備

3-1. ACアダプタの接続

手順

1. 電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
2. ACアダプタのDCプラグを本機の電源コネクタに接続してください。
3. もう一方のACプラグをコンセントに差し込んでください。

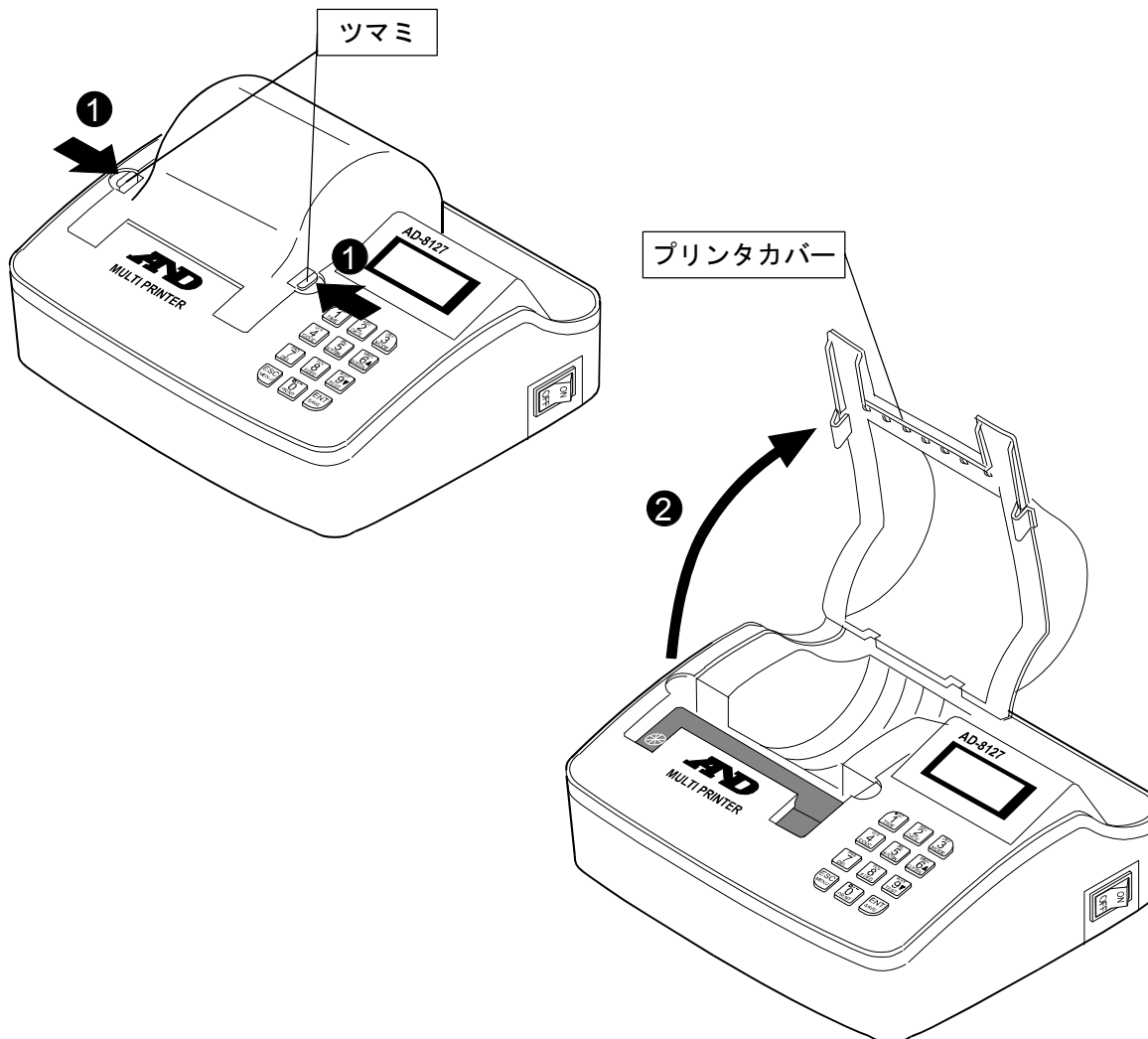


3-2. プリンタカバーの開閉

インクリボンやプリンタ用紙の着脱を行う際には、プリンタカバーを開けて操作を行います。

手順

1. プリンタカバー両サイドにあるつまみを、内側（矢印方向）に押しください。
2. つまみを押さえたまま、プリンタカバーを上方に持ち上げてください。

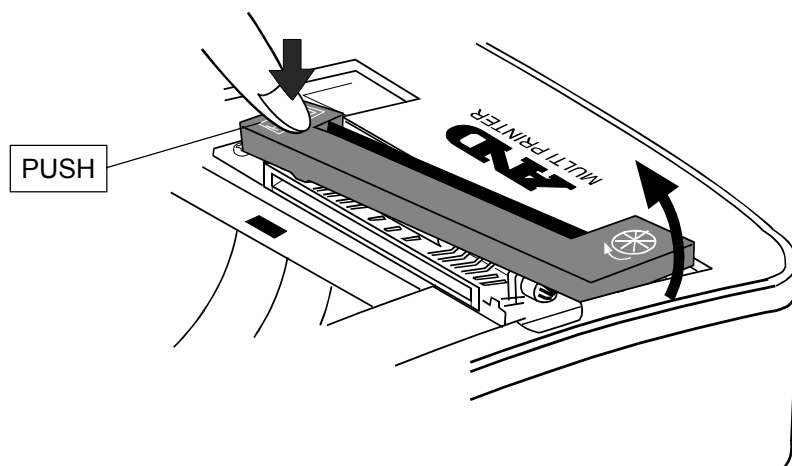


注意 開閉方法を間違えるとプリンタカバーが破損する恐れがあります。

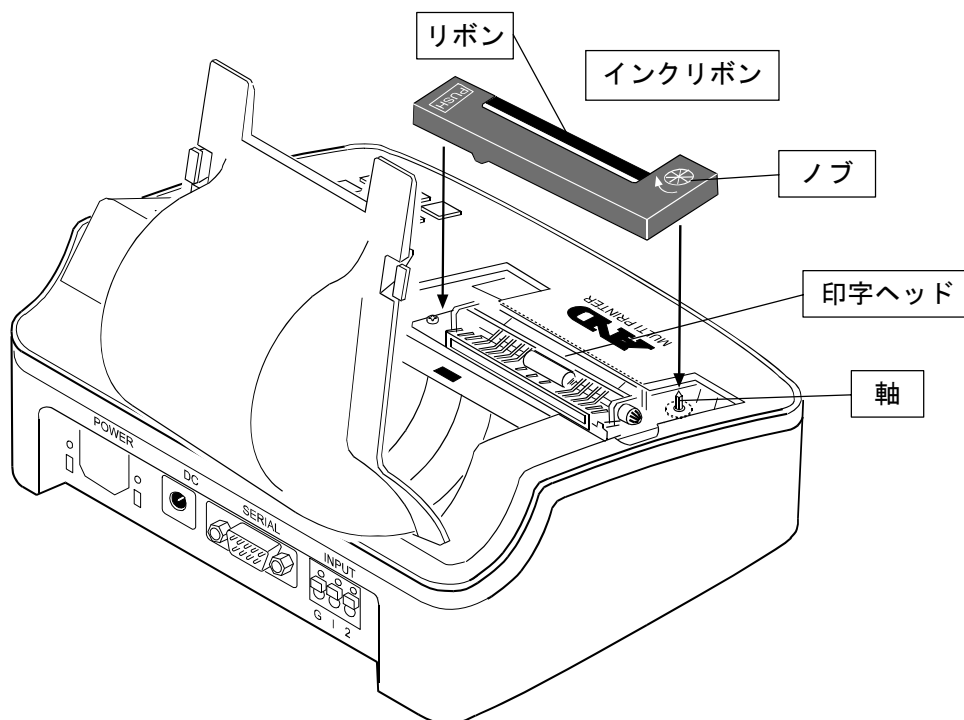
3-3. インクリボンの着脱

手順

1. 電源を OFF にしてから、プリンタカバーを開けてください。
2. インクリボンを取り外す際には、インクリボンの“PUSH”の部分を押すとノブ側が浮き上がりますので、そのまま真上に引き上げてください。



3. インクリボンを取り付ける際には、リボンのたるみが無くなるまでインクリボンのノブを矢印方向に回してください。
 4. 本体から出ている軸にインクリボンのノブ裏の穴を入れます。リボンは印字ヘッドの間にに入れて押し込んでください。
- ※ プリンタ用紙を取り付けた状態でインクリボンの交換を行う場合、リボンは印字ヘッドとプリンタ用紙の間に入れてください。

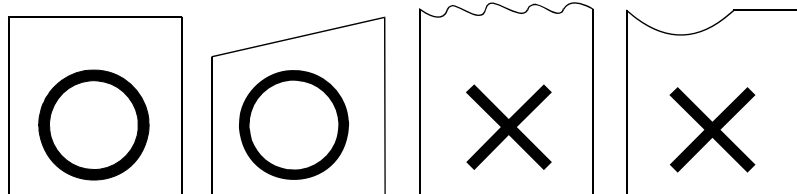



※ 別売品：インクリボン（5個セット）AX-ERC-22B

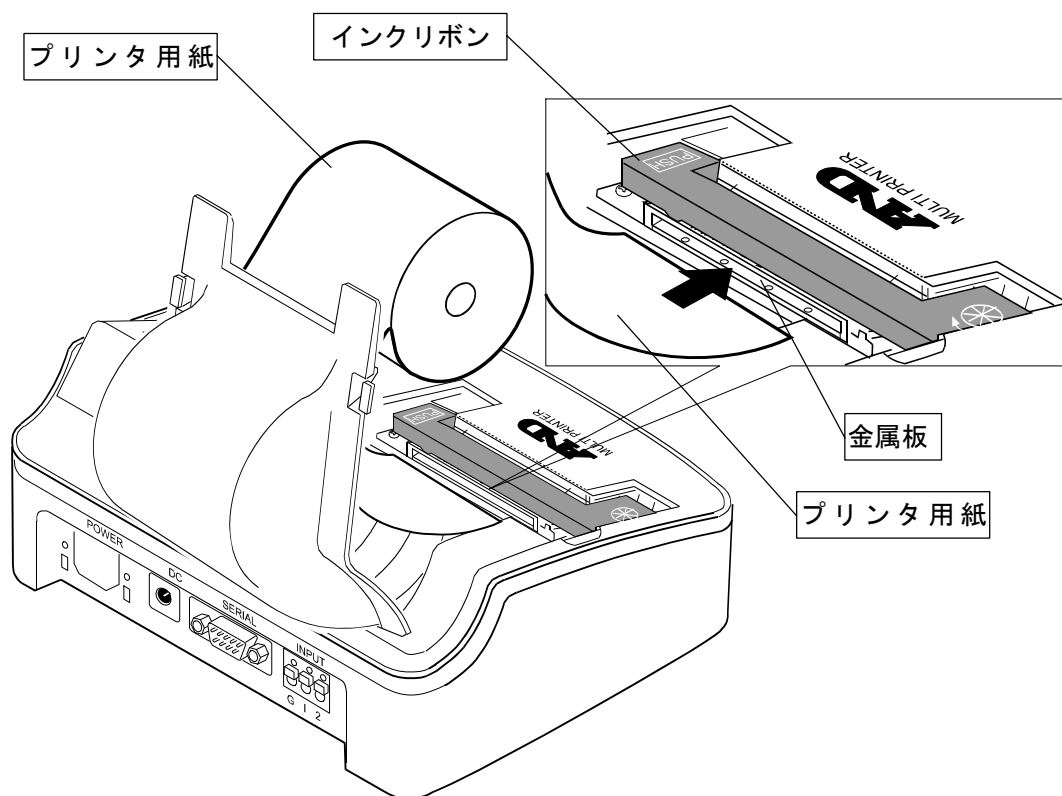
3-4. プリンタ用紙の取り付け

手順

1. プリンタカバーを開けてください。
2. プリンタ用紙の先端を下図のように直角または斜めにカットしてください。



3. プリンタ用紙の先端を印字ユニットの金属板の上に差し込みます。
4. 電源スイッチを ON にしてください。
5.  キーを押して印字用紙をフィードさせ、印字ユニットから 5、6cm 外に出します。
6. プリンタカバーをしめます。



- ※ ロール紙をプリンタカバーに入れると作業しやすくなります。
- ※ 別売品：プリンタ用普通紙（10巻入り）AX-PP137-S
- 別売品：プリンタ用無塵紙（10巻入り）AX-PP173-S

3-5. テスト印字



キーを押しながら電源を ON にし、

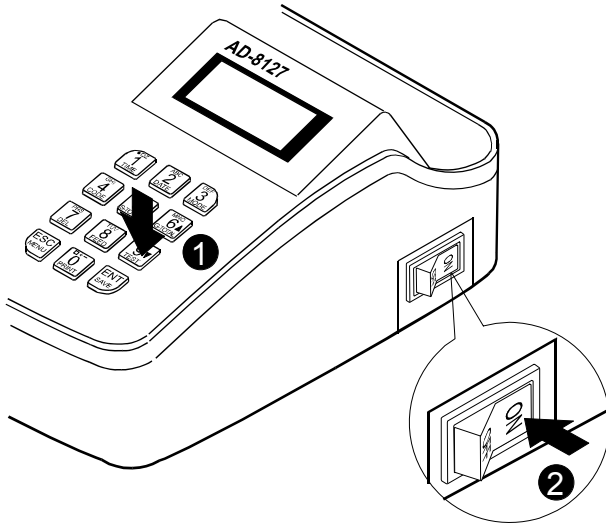


キーを長押し（約 4 秒間）すると、テスト印字が開始されます。

テスト印字により、内部設定の状態が確認できます。

※ 印字を中止する場合は電源をOFFにしてください。

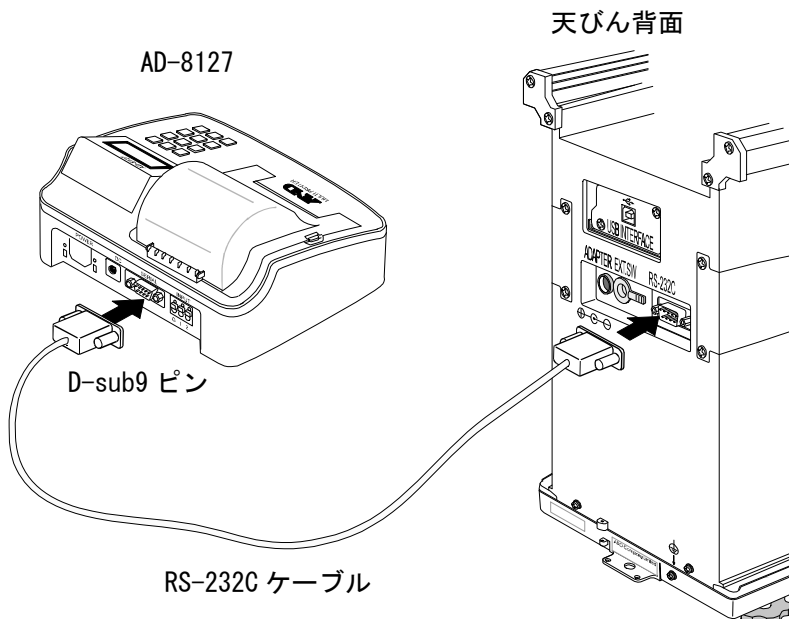
印字例



```
-----
* [ PRINTER SETUP ] *
VERSION : V3.15(2017/10/31)
USER MODEL : AND
PRINT MODE : EXT.KEY
PRINT FORMAT : WEIGHT
PRINT FORMAT2: +/- PRINT
US PRINT : NOT PRINT
DATE FORMAT : Y/M/D
LINE FEED : 1LINE
USER CODE : 00000001
TOTAL MODE : TIME PRINT
CODE DIRECTION: L← R
CODE PRINT : PRINT
NO.PRINT : PRINT
INTERFACE : SERIAL(RS-232C)
              CURRENT LOOP
PROTOCOL : 2400bps,E,7,1
CURRENT TIME/DATE :
              2017/11/02 14:38:42
-----
```

3-6. 計量機器との接続

天びんやはかり等と接続する場合は、RS-232C ケーブルを使用します。




※ 天びん・はかりは機種によって D-sub9 ピン、D-sub25 ピン、Din7 ピンの 3 種類がありますので、それぞれ対応したケーブルを接続してください。

4. 印字

4-1. 計量機器からのデータ印字


手順

1. 本機の電源を ON にしてください。
2. 計量機器と RS-232C ケーブルまたは、カレントループケーブルで接続してください。
3. 計量機器からデータを出力します。
計量機器のデータ出力方法、出力フォーマット、RS-232C 通信設定は計量機器の取扱説明書を参照してください。
4.  キーにより紙送りを行い、印字結果が見える状態にしてから紙をカットします。

※ 天びんには  キーによる出力や、安定後自動出力といった機能があります。

4-2. 紙送り

手順

1.  キーを押してください。押している間紙送りし続けます。

4-3. 注意事項

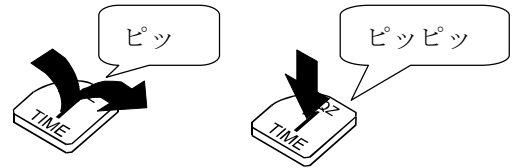
- インクリボンを取り付けていない状態で印字しないでください。印字ヘッドを傷める原因となります。
- インクリボンは使いすぎて破れる前に交換してください。印字ヘッドを傷める原因となります。また、インクの補充はしないでください。にじみの原因となります。
- 本体内部に異物を落とさないよう注意してください。故障の原因になります。
- 動作させるときには、安定した場所に設置してください。水平でなかったり、不安定なときは、印字時の振動と共に本機が移動することがあり危険です。
- 設置台の材質（PVC 等）によってはゴムの成分が移る可能性があります。ビニール系の台またはシート上への設置は避けてください。
- 本体を清掃する場合は、有機溶剤（アルコール、シンナー、ベンジン等）は使用しないでください。本体は樹脂製なので劣化する恐れがあります。
- インクリボンを取り付けた状態で長時間放置しますと、プリンタ用紙が汚れる場合があります。また、低温時において、連続印字を行うとインクの特性により印字が薄くなる場合があります。
- 紙切れのまま印字すると印字ヘッドを傷めますので、新しいプリンタ用紙を取り付けてください。
- 出荷時に付属されているインクリボンは印字テスト用となります。

5. キーの基本操作（基本動作）

キーを押した際の動作は2種類あります。

1. キーを押してブザーが鳴ったらキーを離す
2. キーを押してブザーが2回鳴るまで長押し（約2秒間）する

※キーの誤動作を避けるために、キーを押してからブザーが鳴るまで多少時間があります。



キー	キーを押した場合 (ブザーが1回鳴るまで)	キーを長押し（約2秒間）した場合 (ブザーが2回鳴るまで)
	現在の時刻を印字します。	時刻設定モードに入ります。
	現在の日付を印字します。	日付設定モードに入ります。
	印字モード設定に入ります。	
	ID コードを印字します。	ID コード設定モードに入ります。
	合計 (TOTAL) を印字します。	
	統計演算結果を印字します。	
	統計演算に使用するデータを1件削除します。	統計演算に使用するデータを一括削除します。
	キーを押している間、紙送りをを行います。	
	電源オフ時に押しながら電源 ON することでテスト印字を行います。	
	各設定の変更をキャンセルします。 内部設定時には設定項目を次項目にします。	リゼロコマンドを送信します。※ コマンドは内部設定で選択できます。
	マニュアル印字モードでは計量値を印字します。外部キー印字モードとダンプ印字モードでは計量値要求コマンド (“Q” コマンド) を計量器に送信し、受信した計量値を印字します。 ※	
	各設定変更を確定します。 チャート印字中ではチャート印字を中断、再開します。	外部キー印字モードとダンプ印字モードを切替えます。 チャート印字中ではチャート印字を終了します。





※ カレントループで接続している場合は、コマンドの送信はできません。


6. 統計演算機能

本機は計量値を印字するだけでなく、印字した計量値の統計演算を行います。演算処理は随時行われているため、ワンタッチでいつでも演算結果を印字することができます。

6-1. 統計演算の印字例と印字内容

印字例

- 計量値を印字すると計量ナンバが印字されます。
単位やデータの種類が最初に入力されたデータと異なる場合は、印字はされますが、演算の対象から除かれます。
- 誤って計量値を印字した場合は、 キーを押してください。
“***< *** DELETE >***” と印字され直前のデータが演算対象から除かれます。
- 合計の演算結果を印字する場合は、 キーを押してください。
日付・時刻、ID コード、データ数(N)、合計(TOTAL)が印字されます。統計演算で使用するデータを一括削除する場合は、 キーを長押し（約2秒間）します。
- 全ての演算結果を印字する場合は、 キーを押してください。
日付・時刻、ID コード、データ数(N)、合計(TOTAL)、平均値(AVE)、最大値(MAX)、最小値(MIN)、最大値-最小値(R)、標準偏差(STDEV)変動係数(CV)、最小計量値(MINI WT)の値が印字されます。
$$\text{変動係数(CV)} = \frac{\text{標準偏差(STDEV)}}{\text{平均値(AVE)}} \times 100(\%)$$
$$\text{最小計量値(MINI WT)} = \text{標準偏差(STDEV)} \times 2000$$

※ 最小計量値の計算は USP（米国薬局方）Chapter 41 に準拠しています。対象は分銅の計量時となります。
※ 演算対象のデータ数(N)は最大 999 個です。
- 全ての演算結果を印字後、統計演算に使用するデータの一括削除が行えます。（ キーを長押し（約2秒間）した場合も同じ動作となります。）

LCD 表示



キー：データを一括削除



キー：データは削除しない

CLEAR
DATA? E

```
ID CODE : LAB-1234
NO. 1 WT 1000.12 g
NO. 2 WT 1000.20 g
NO. 3 WT 1000.16 g
NO. 4 WT 1000.21 g
```

< 004 DELETE >

```
NO. 4 WT 1000.25 g
NO. 5 WT 1000.13 g
```

< SUB TOTAL >

2016/02/09 15:31:50

ID CODE LAB-1234

N 5

TOTAL 5000.86 g

< GRAND TOTAL >

2016/02/09 15:32:07

ID CODE LAB-1234

N 5

TOTAL 5000.86 g

AVE(x) 1000.17 g

MAX 1000.25 g

MIN 1000.12 g

RANGE(R) 0.13 g

STDEV(s) 0.054 g





CV 0.01 %

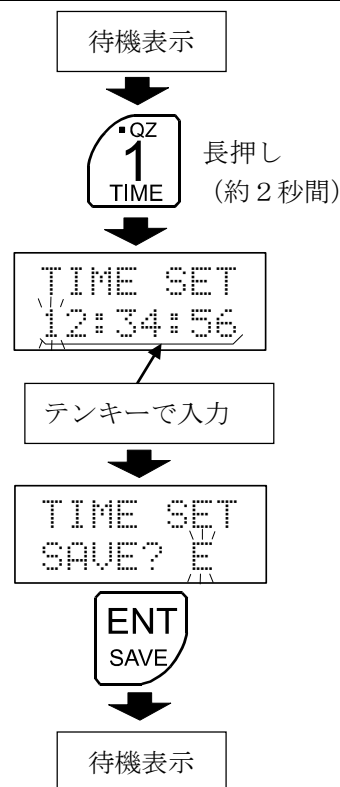
MINI WT 100.00 g

7. 基本設定





基本設定では、時計や印字モードなど最低限必要な設定は、簡単なキー操作で行うことができます。設定値は内部バッテリーでバックアップされているため、電源OFFまたはACアダプタを抜いても記憶しています。
注意 電源ON時に「ピー、ピッ、ピッ、ピッ」と警告鳴が鳴った場合は、内部リチウムバッテリーの異常により、日付・時刻の設定、印字が正しく行えません。この場合は、修理を依頼してください。

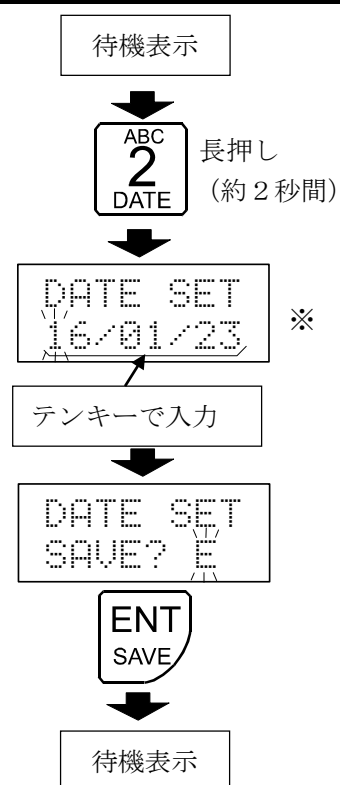
7-1. 時刻設定

1.  キーを長押ししてください。
 2. テンキーにて時・分・秒を入力してください。
 3. 全て入力すると  と表示されます。
 4. 決定する場合は  キーを押してください。
- 取り消す場合は  キーを押してください。
- ※ 存在しない時刻は設定しないでください。







7-2. 日付設定

1.  キーを長押ししてください。
 2. テンキーにて年・月・日を入力してください。
 3. 全て入力すると  表示されます。
 4. 決定する場合は  キーを押してください。
- 取り消す場合は  キーを押してください。
- ※ 存在しない日付は設定しないでください。
※ 年・月・日の順序を変更する場合は、「8-2. 項目一覧」の「機能設定 (3=MODE)」の「日付フォーム (DATE FOR)」を設定してください。

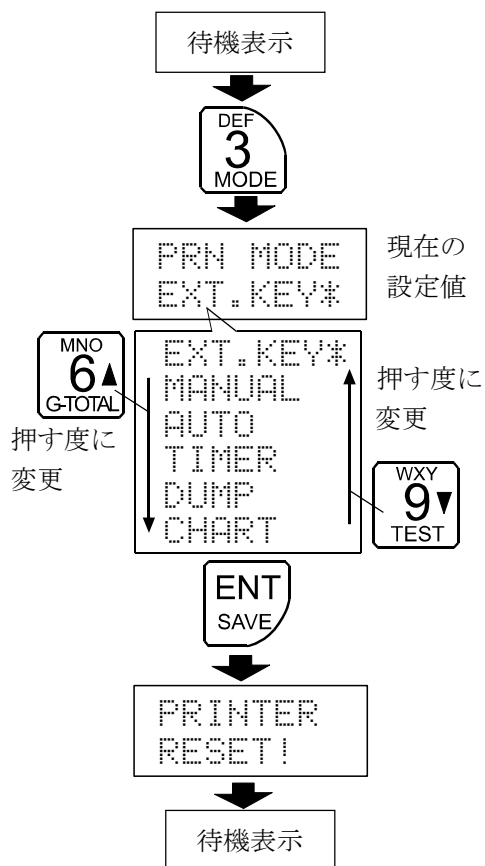


7-3. 印字モード設定



1.  キーを押してください。
2.  キーまたは  キーを押して表示を切替えます。
3.  キーを押して確定します。

設定を取り消す場合は、 キーを押してください。

※各設定の解説については、「8-4. 印字モードの解説」を参照してください。

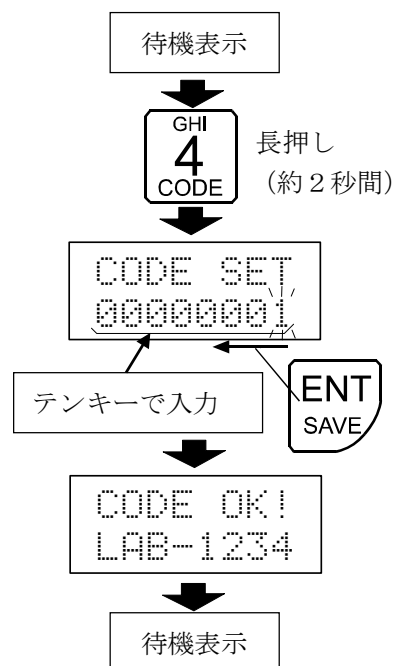


7-4. IDコード設定

1.  キーを長押し（約2秒間）してください。
2. テンキーにてIDコードを入力してください。
3. 桁を移動する場合は  キーを押してください。
4. 全て入力すると  表示されて待機状態に戻ります。

※  キーを押して取り消しても  キーを押した桁までは変更されています。

※IDコードの設定方向は内部設定で変更できます。



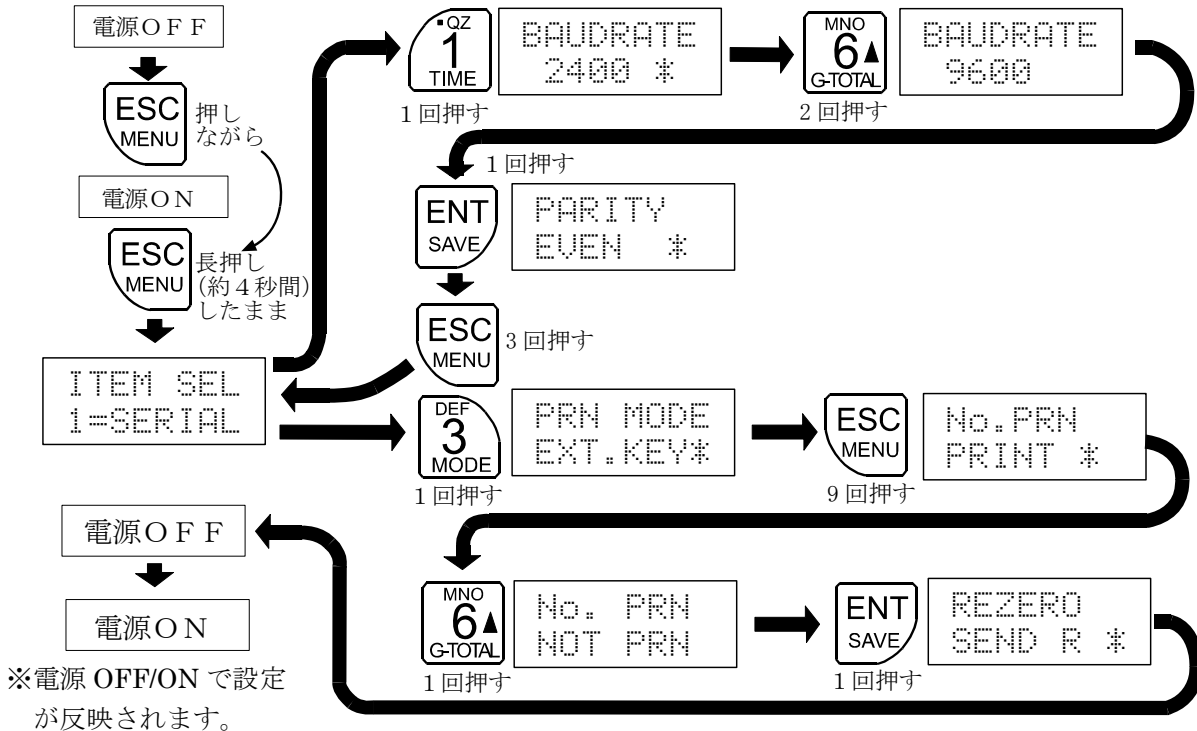
8. 内部設定

内部設定では、プリンタの通信・機能の変更ができます。設定値は電源 OFF または AC アダプタを抜いても記憶されます。

内部設定のメニュー構造は、下図のように分類項目と設定項目の 2 層からなり、各設定項目には 1 つの設定値が登録されています。各項目で有効となる設定値は、選択後に **ENT SAVE** キーを押した設定値となります。

更新した設定値がプリンタの動作に反映されるのは、電源を OFF/ON した後となります。

設定例とメニュー構造



8-1. 内部設定の表示と操作キー

表示と操作キー	解説
*	「*」マークは現在有効となっている設定値に表示されます。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">QZ 1 TIME</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ABC 2 DATE</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">DEF 3 MODE</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">GHI 4 CODE</div> </div>	ITEM SEL 表示中に各分類項目に入ります。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MNO 6▲ G-TOTAL</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">WXY 9▼ TEST</div> </div>	設定値を変更します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ENT SAVE</div>	現在の設定項目に変更して、次の設定項目に進みます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ESC MENU</div>	現在の設定項目は変更せず、次の設定項目に進みます。

8-2. 項目一覧

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途	
1=SERIAL シリアルインタ フェース ※1	BAUDRATE ボーレート	300	300 bps	
		600	600 bps	
		1200	1200 bps	
		■ 2400	2400 bps	
		4800	4800 bps	
		9600	9600 bps	
		19200	19200 bps	
	PARITY パリティ	NONE	なし	
		ODD	奇数	
		■ EVEN	偶数	
	WORD LEN データ長	8 bit	8 bit	
		■ 7 bit	7 bit	
STOP BIT ストップビット	■ 1STOP	1 bit		
	2STOP	2 bit		
2=VENDER データフォーマット ※2	■ AND	A&D 標準フォーマット		
	⋮	以降他社フォーマット	※3	
3=MODE 機能設定	FRN MODE 印字モード	■ EXT.KEY	外部キー印字モード	
		MANUAL	マニュアル印字モード	※4
		AUTO	オート印字モード	※4
		TIMER	インターバル印字モード	※4
		DUMP	ダンプ印字モード	
		CHART	チャート印字モード	※4
	FRN FOR. 印字データ	■ WEIGHT	計量値のみ	
		TIME/WG	日付時刻 + 計量値	
		TM1/WG	日付時刻 + 計量値	日付時刻は初回のみ印字する
	FRN FOR2 印字データ2	+ PRN	計量値が“+”のとき印字	
		■ +/- PRN	計量値が“+”、“-”どちらでも印字	
	US FRN 非安定データ	■ NOT FRN	印字しない	
		PRINT	印字する	
	DATE FOR 日付フォーム	■ Y/M/D	yyyy/mm/dd	
		M/D/Y	mm/dd/yyyy	
D/M/Y		dd/mm/yyyy		

■ は出荷時設定です。

※1 シリアルインタフェースの初期設定値はA&D製の天びん・はかりの初期設定に合わせてあります。

※2 A&D標準フォーマット以外の他社フォーマットは動作を保証するものではありません。

※3 計量機器の出力フォーマットもA&D標準フォーマットに設定してください。

※4 天びん・はかりの出力モードはストリーム出力する必要があります。

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途		
3=MODE 機能設定	FEED CNT フィード	■ 1 LINE	印字後 1 行紙送り		
		2 LINE	印字後 2 行紙送り		
		3 LINE	印字後 3 行紙送り		
		4 LINE	印字後 4 行紙送り		
		5 LINE	印字後 5 行紙送り		
		6 LINE	印字後 6 行紙送り		
		7 LINE	印字後 7 行紙送り		
		8 LINE	印字後 8 行紙送り		
	TOTAL MD 演算印字	■ T/D YES	演算印字に日付時刻あり		
		T/D NO	演算印字に日付時刻なし		
	CODE PRN ID 印字	NOT PRN	印字しない	No.1 データの印字時 と統計演算印字時	
		■ PRINT	印字する		
	CODE DIR ID 設定方向	■ L <-- R	右から左		
		L --> R	左から右		
	NO. PRN 計量ナンバー印字	NOT PRN	印字しない	統計演算に適用され るナンバ	
		■ PRINT	印字する		
	REZERO リゼロコマンド ※5	■ SEND R	R コマンド		
		SEND Z	Z コマンド		
	EXT IN1 外部入力 1	■ NONE	機能無し		
		PRINT	印字	印字モード “MANUAL”	
		FEED	紙送り	※6	
		G TOTAL	演算結果印字		
		S TOTAL	総和印字		
		R/Z CMD	リゼロコマンド		
		Q CMD	計量値要求コマンド		
	EXT IN2 外部入力 2	■ NONE	機能無し		
		PRINT	印字	印字モード “MANUAL”	
FEED		紙送り	※6		
G TOTAL		演算結果印字			
S TOTAL		総和印字			
R/Z CMD		リゼロコマンド			
Q CMD		計量値要求コマンド			
4=INITAL 初期化	FRN F/A 初期化	—	プリンタの内部設定を 工場出荷時の状態に します。		
5=PW パスワードロック機能	LOCK パスワードロック機能	■ NOT USE	パスワード機能なし	パスワード機能ありの場 合、日付・時刻・内部設 定の変更時にパスワード 入力が必要です。	
		USE	パスワード機能あり		

■ は出荷時設定です。

※5 接続する天びん・はかりの仕様に合わせてコマンドを設定してください。

※6 外部入力スイッチを一度押すと紙送りを開始し、もう一度押すと停止します。

8-3. 内部設定の初期化

プリンタの内部設定値を工場出荷時の状態に戻す場合は、「8-2. 項目一覧」の「初期化 (INITIAL)」を実行してください。



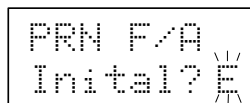
キー：内部設定を工場出荷時の状態にします。



キー：項目キャンセル

(内部設定は初期化されません。)

LCD 表示



8-4. 印字モードの解説

「8-2. 項目一覧」の「印字モード (PRN MODE)」によって、印字する方法が異なります。

外部キー印字モード (EXT. KEY)

プリンタのキーは使用せず、計量器のキーによって印字します。
計量器のデータ出力設定はキーによる出力としてください。



キーを押して計量器側に計量値要求コマンド (“Q” コマンド) を送信することで印字することも可能です。

ただし、カレントループで接続している場合は、コマンドの送信はできません。

マニュアル印字モード (MANUAL)



キーを押すことで印字します。

計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。

オート印字モード (AUTO)

計量器からの送られてくるデータがゼロの状態から+10 デジット以上の変化があり、安定したときに自動で印字します。1 デジット = 計量器の最小表示となります。

計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。

インターバル印字モード (TIMER)

設定した時間ごとに印字します。インターバル時間の設定は、印字モードで“TIMER”を確定した後に分・秒 (mm:ss) で設定します。



キーで印字を中断し、



キーで印字を再開します。

計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。

ダンプ印字モード (DUMP)

計量器から送られてきたデータをそのまま印字します。計量器の GLP 出力などに使用します。
計量器のデータ出力設定はキーによる出力としてください。



キーを押して計量器側に計量値要求コマンド (“Q” コマンド) を送信することで印字することも可能です。

ただし、カレントループで接続している場合は、コマンドの送信はできません。

DUMP 印字モードで印字可能な文字コードテーブル (ASCII)

	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	'	p
1			!	1	A	Q	a	q
2			"	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s
4			\$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v
7			'	7	G	W	g	w
8			(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A			*	:	J	Z	j	z
B			+	;	K	[k	{
C			,	<	L	\	l	!
D			-	=	M]	m	}
E			.	>	N	^	n	~
F			/	?	O	_	o	

印字可能な ASCII コード : 20h~7Eh

空白は印字未対応

SP はスペース

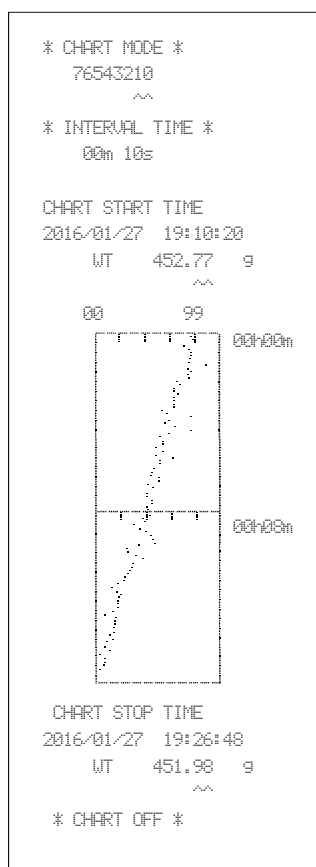
チャート印字モード (CHART)

計量値の変化量を散布図として印字します。計量値の経時変化を視覚的に確認することができます。チャートモードの設定は、印字モードで"CHART"を確定した後に、チャート印字する桁 (2 桁) の設定と、インターバル時間の分・秒 (mm:ss) の設定、印字回数設定を行います。計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。「8-5.チャート印字モード」を参照してください。

8-5. チャート印字モード

1. 印字モードを”CHART”にして **ENT SAVE** キーを押して確定します。
2. 電源をOFF/ONします。
3. チャート化する対象桁を **MNO 6▲**、**WXY 9▼** キーで選択し、
ENT SAVE キーで確定します。
4. インターバル時間をテンキーで入力して、**ENT SAVE** キーで確定します。
5. チャート印字回数をテンキーで入力して、**ENT SAVE** キーで確定します。
チャート印字が開始されます。

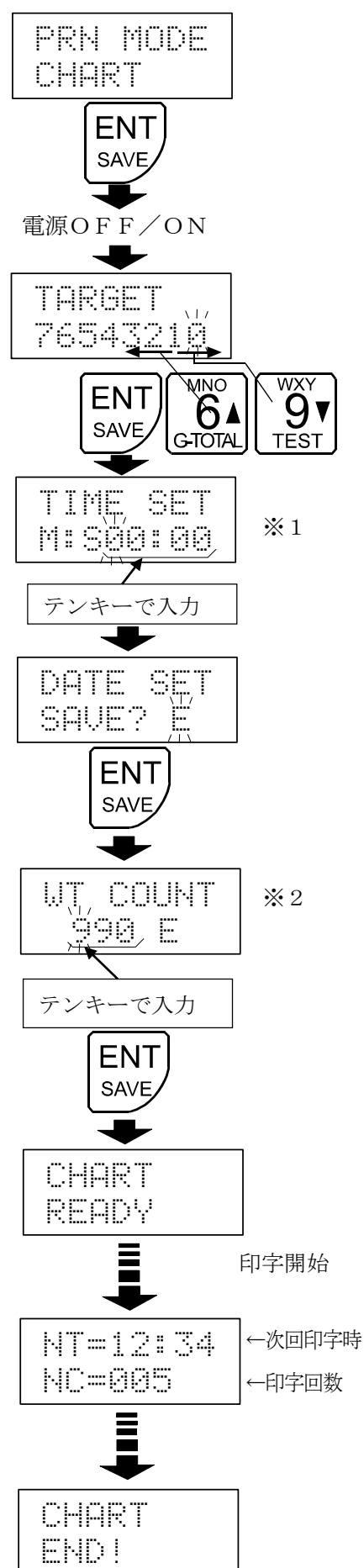
チャート印字例



6. **ENT SAVE** キーを長押しするか、チャート印字回数で設定した回数の印字が終了するとチャート印字が終了します。また、**DEF 3 MODE** キーを押すとチャート印字を一時中断し、**ENT SAVE** キーで再開します。
7. チャート印字終了後、**ENT SAVE** キーを押すと「3.」から繰り返すことができます。

※1 インターバル時間の設定範囲は、00:05 (5秒) ~ 59:59 (59分59秒) です。

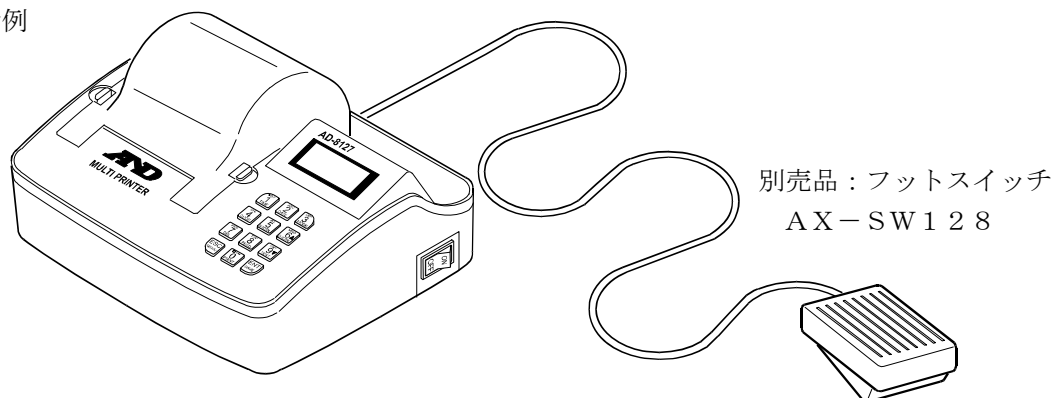
※2 チャート印字回数の設定範囲は、010 (10回) ~ 990 (990回) です。



8-6. 外部入力コネクタの解説

外部入力コネクタを使用することで、プリンタから離れた場所で印字や紙送り、計量器のリゼロといった操作を行うことができます。外部入力は2系統あり、それぞれの操作は、「8-2. 項目一覧」の「機能設定 (3=MODE)」の「外部入力 1 (EXT IN1)」と「外部入力 2 (EXT IN2)」で設定することができます。

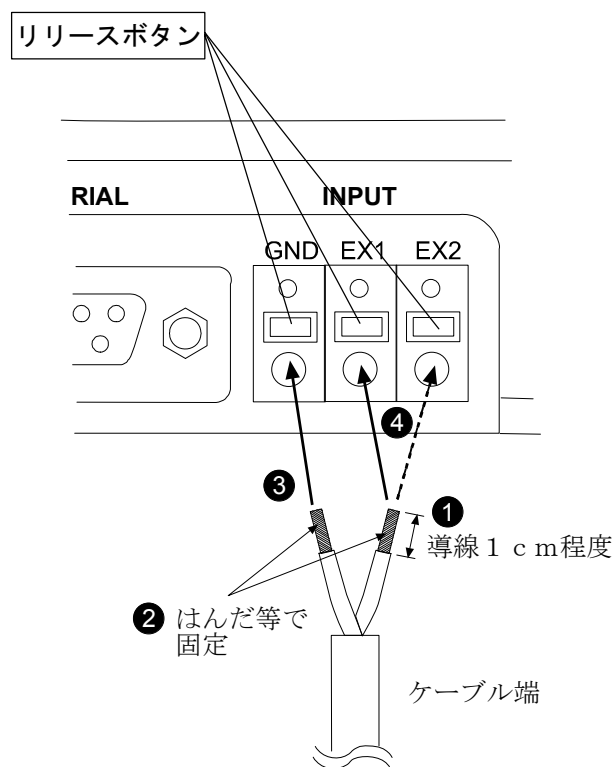
組み合わせ例



外部入力コネクタの使用方法（フットスイッチの場合）

1. ケーブル被覆をはがし、導線を1cm程度出します。
2. 導線が曲がったりバラバラにならないようはんだ等で固定します。
3. 片方の導線を外部入力コネクタの「GND」端子に差し込みます。※1※2
4. もう一方の導線を外部入力コネクタの「EX1」端子、または「EX2」端子に差し込みます。※2
5. 導線を外部入力コネクタから外す場合は、リリースボタンを押しながら導線を引き抜いてください。※2

- ※1 差し込むだけではうまく固定されない場合は、リリースボタンを押しながら導線を差し込んでください。
- ※2 リリースボタンが押し難い場合は、ドライバ等で押してください。





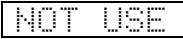



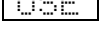








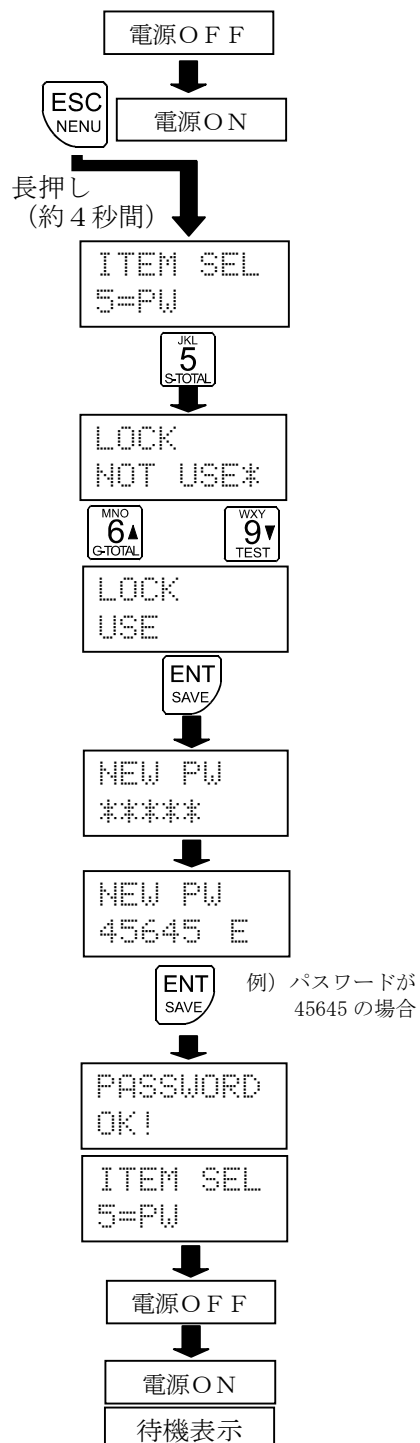
9. パスワードロック機能

パスワードを設定することにより、パスワードを知っている管理者のみ、日時・時刻・内部設定の設定変更ができる機能です。IDナンバはパスワードロック機能の使用中でも、使用者が変更可能です。

9-1. パスワードロック機能を有効にする

パスワードの設定

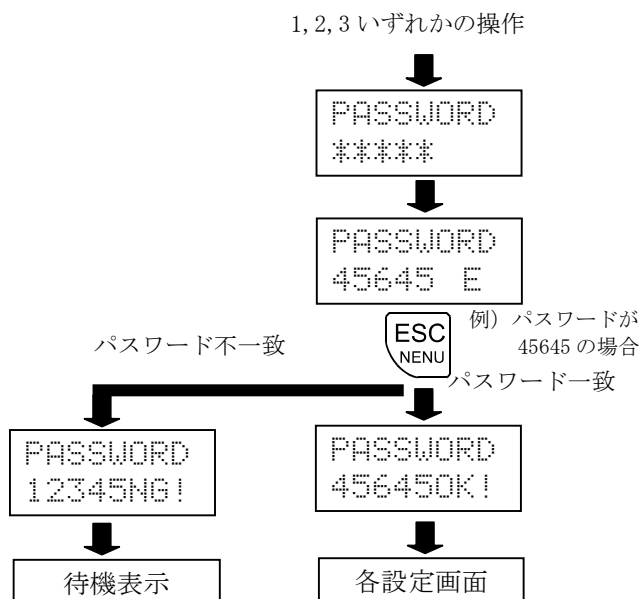
- 電源OFFの状態から、キーを押しながら電源をONにし、さらにキーを長押し（約4秒間）してください。
- 内部設定  の表示になります。キーを押すと、 または  が表示されますので、 または  キーで  を選択し、 キーを押します。
-  が表示されます。
数字キーで5桁のパスワードを設定してください。
(出荷時は00000のパスワードが設定されています。)
(操作途中でキーを押すと、設定を中止することができます。)
- 数字キーで5桁のパスワードを設定し終わると、“”が表示されますのでキーを押して、パスワードの設定を確定してください。
-  の表示後、内部設定表示に変わります。
- 一度電源をOFFして、電源を入れ直してください。
待機表示に戻り、印字のスタンバイ状態になります。



9-2. パスワード入力箇所

パスワードを“使用する” **USE *** に設定されている場合は、次の設定操作でパスワードの入力が必要になります。

1. 内部設定に入るとき： 電源OFF状態から、**ESC MENU** キーを押しながら電源をONにします。
2. 時刻設定に入るとき： 待機表示から、**1 TIME** キーを長押し（約2秒間）します。
3. 日付設定に入るとき： 待機表示から **2 DATE** キーを長押し（約2秒間）します。



10. インタフェースの仕様

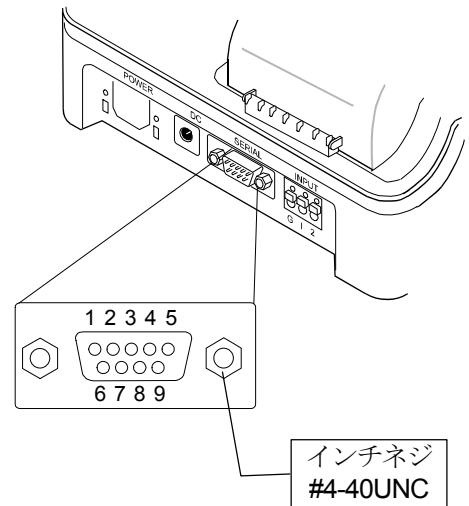
10-1. RS-232C

本機は DTE です。天びん (DCE) とはストレートケーブルで接続します。

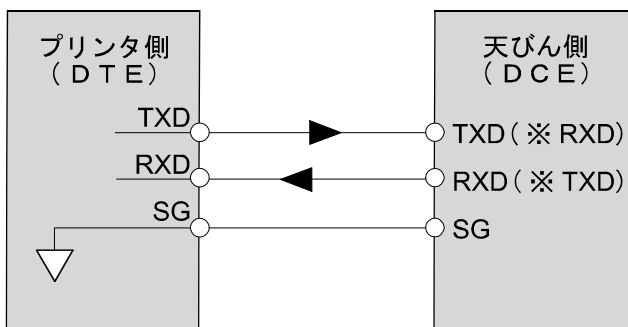
伝送方式 : EIA RS-232C
 伝送形式 : 非同期方式
 信号形式 : ボーレート 300、600、1200、2400*、4800、9600、19200bps
 ターミネータ <CR><LF>
 データビット 7 ビット*または 8 ビット
 パリティ EVEN*、ODD (データ長 7 ビット)
 NONE (データ長 8 ビット)
 ストップビット 1 ビット以上
 *は出荷時設定 (A&D 製のほとんどの天びんの出荷時設定に合わせています。)

D-Sub9 ピン配置

ピン No.	信号名	方向	意味
1	RXD	—	カレントループ受信データ
2	RXD	入	受信データ
3	TXD	出	送信データ
4	内部で使用	出	接続しないでください (5V 出力)
5	SG	出	シグナルグラウンド
6	—	—	N. C.
7	—	—	N. C.
8	—	—	N. C.
9	—	—	N. C.



RS-232C 接続



※ 天びんの取扱説明書によっては () 内の名称となっているものもあります。

11. 保守

11-1. お手入れ

- 本体表面が汚れたときは中性洗剤を少ししみこませた柔らかい布で拭き取ってください。
- 有機溶剤や化学ぞうきんは使わないでください。
- 本機は分解しないでください。
- 輸送の際は専用の梱包材をご使用ください。

11-2. 動作確認

修理を依頼される前に以下の項目をチェックし、それでも異常がある場合は修理を依頼してください。

電源のチェック

- 専用 AC アダプタ (AX-TB135、または AX-TB285) は接続されていますか？

通信のチェック

- 本機と計量器は、RS-232C ストレートケーブル、またはカレントループケーブルで接続されていますか？
- 本機と計量器の RS-232C 設定 (ボーレート、データ長、パリティ) は合致していますか？

11-3. 故障かな？ と思ったら

No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-1	計量値が印字できない	<p>プリンタに正しい AC アダプタが接続されていない可能性があります。AC アダプタの型式を確認してください。</p> <p>適合 AC アダプタ：TB-135 または TB-285</p> <p><参照> 本書「2. 製品構成 (各部の名称)、梱包内容」の「2-1. 梱包内容」</p>
11-3-2	プリンタ表示 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MANUAL DATA ERR</div>	<p>プリンタが“マニュアル印字モード” [3=MODE PRN MODE / MANUAL] に設定されている状態で、計量値を受信できません。</p> <p>※ “マニュアル印字モード” は、天びん・はかりからプリンタに連続で計量値を送り、プリンタの 0⁺⁻PRINT キーを押したタイミングで、計量値を印字する方法です。</p> <hr/> <p>1. 天びん・はかりのキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。</p> <p><参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <hr/> <p>2. プリンタのキー操作で計量値を印字したい場合 以下、いずれかの方法があります。</p> <hr/> <p>2-1 プリンタから天びん・はかりに、計量値要求コマンドを送信する方法</p> <p>※ “Q” コマンドにより計量値を出力できる天びん・はかりに限ります。</p> <p>1) 天びん・はかりの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット” <p>2) プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード：“外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3) 計量値の印字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの 0⁺⁻PRINT キーを押すと、プリンタは天びん・はかりに計量値要求コマンド(“Q” コマンド)を送信、プリンタは計量値を受信し、印字します。 <hr/> <p>2-2 天びん・はかりからプリンタに連続で計量値を送信し、プリンタの 0⁺⁻PRINT キーを押したタイミングで、計量値を印字する方法</p> <p>1) 天びん・はかりの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力モード：“ストリームモード” (計量値を連続出力) ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット” <p>2) プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード：“マニュアル印字モード” [3=MODE PRN MODE / MANUAL] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3) 計量値の印字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの 0⁺⁻PRINT キーを押すと、最新の計量値を印字します。 <p>※表示オフ/リゼロ中など、天びん・はかりからの計量値出力が停止した場合は、プリンタに左記エラーが表示されます。</p>

No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-3	計量値が印字できない プリンタ表示 AUTO DATA ERR	<p>プリンタが“オート印字モード” [3=MODE PRN MODE / AUTO] に設定されている状態で、計量データを受信できません。 ※プリンタの“オート印字モード”は、天びん・はかりからプリンタに連続で計量値を送り、プリンタが計量値の変化を検出した時に、自動で計量値の印字を行う方法です。</p> <p>1. 天びん・はかりのキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <p>2. 計量値の変化により自動で計量値を印字したい場合 以下、いずれかの方法があります。</p> <p>2-1 天びん・はかりの“オートプリント機能”を利用する方法 多くの天びん・はかりは、計量値が変化・安定後、計量値を自動で出力する機能(オートプリント機能)を搭載しています。この機能でプリンタに計量値を自動で印字することができます。</p> <p>1)天びん・はかりの設定 ・データ出力モード: “オートプリント” ・データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット”</p> <p>2)プリンタの設定 ・印字モード: “外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3)計量値の印字 ・天びん・はかりの取扱説明書に従い、測定物の載せ(または降ろし)により計量値をプリンタに出力すると、プリンタは計量値を印字します。</p> <p>2-2 プリンタの“オート印字モード”を利用する方法</p> <p>1)天びん・はかりの設定 ・データ出力モード: “ストリームモード” (計量値を連続出力) ・データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット”</p> <p>2)プリンタの設定 ・印字モード: “オート印字モード” [3=MODE PRN MODE / AUTO] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3)計量値の印字 ・計量値がゼロから 10d(デジット)以上変化して安定すると、計量値を印字します。</p>
11-3-4	プリンタ表示 TARGET 76543210	<p>プリンタが“チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART] に設定されており、チャート化する対象桁を選択する状態です。</p> <p>1. 天びん・はかりのキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <p>2. チャート印字(計量値の経時変化を散布図として印字)したい場合</p> <p>1)天びん・はかりの設定 ・データ出力モード: “ストリームモード” (計量値を連続出力) ・データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット”</p> <p>2)プリンタの設定 ・印字モード: “チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>・チャート印字設定については、「8. 内部設定」の「8-5. チャート印字モード」に従い、設定を行ってください。</p>


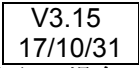
No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-5	計量値が 印字でき ない プリンタ表示 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> TIME SET M:S00:00 </div>	プリンタが“インターバル印字モード” [3=MODE PRN MODE / TIMER]、または“チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART]に設定されており、インターバル時間の設定状態です。 1. 天びん・はかりのキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」 2. “インターバル印字”、または“チャート印字”したい場合 1)天びん・はかりの設定 ・データ出力モード：“ストリームモード” (計量値を連続出力) ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット” 2)プリンタの設定 ・印字モード：“インターバル印字モード” [3=MODE PRN MODE / TIMER]、または“チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」 ・詳しい設定手順は「8. 内部設定」の「8-4. 印字モードの解説」・「8-5. チャート印字モード」を参照してください。
11-3-6	風袋引を行うと 印字できない (HV-C-K シリ ーズ)	HV-C-K シリーズにて発生する場合があります。 プリンタ設定 ・印字モード：“ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」
11-3-7	その他	1. 天びん・はかりとプリンタの接続ケーブルの間違い RS-232C ケーブルで接続する場合、ストレートタイプが適用になります。 DIN ケーブル(丸型コネクタ)で接続する場合、RS-232C 接続用と、カレントループ接続用がありますので注意してください。 <参照> 本書「2. 製品構成 (各部の名称)、梱包内容」の「2-1. 梱包内容」 2. 天びん・はかりの出力フォーマットが合っていない 以下の設定で印字できるか、試してください。正しく印字できれば天びん・はかりとプリンタの通信設定は合っています。 1)天びん・はかりの設定 ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット” 2)プリンタの設定 ・印字モード：“ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」 3. 天びん・はかりとプリンタの通信設定が合っていない 天びん・はかりとプリンタの通信設定(ボーレート、データビット長、パリティビット)を確認してください。天びん・はかりの通信設定は、天びん・はかりの取扱説明書を参照してください。 ほとんどの天びん・はかりの出荷時設定は、プリンタの出荷時設定と同じです。天びん・はかりとプリンタを初期化することで印字可能になる場合があります。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」 1)プリンタの設定 ・シリアルインタフェース [1=SERIAL]の設定を確認してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」

No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-8	計量値を延々と連続印字する	<p>天びん・はかりのデータ出力モードが、“ストリームモード” (計量値を連続で出力)になっています。</p> <p>1. 天びん・はかりのキー操作で計量値を印字したい場合</p> <p>1)天びん・はかりの設定 データ出力モード:ストリームモード以外を選択してください。</p> <p>2. プリンタのキー操作で計量値を印字したい場合</p> <p>1)プリンタの設定 印字モード: “マニュアル印字モード” [3=MODE PRN MODE / MANUAL]にしてください。 <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p>
11-3-9	補助表示を印字しない (GX-R シリーズ)	<p>検定付き GX-R の場合、補助表示が印字できないものがあります。</p> <p>1. 天びんに、H 級の表記があるもの 旧計量法に対応したモデルであり、補助表示は印字できません。 補助表示の桁が、丸められて印字されます。</p> <p>2. 天びんに、2 級の表記があるもの 現計量法に対応したモデルであり、補助表示の印字が可能です。 表示部に補助表示が点灯している場合、補助表示も含めて印字されま す。</p>

11-4. お困りの時は

No.	現象、ご要望		対応方法
11-4-1	印字した結果が見えない		<p>1. TUV 8 FEED キーを押し、印字が見えるまで紙送りを行ってください。</p> <p>2. 計量値を印字後に、自動で紙送りを行うことも可能です。 プリンタの設定：“フィード” [3=MODE FEED CNT / x LINE]にて紙送り量を選択してください。 <参照>本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧（設定項目“FEED CNT”）」 ※紙送り量の設定が“2 LINE”までしか設定出来ない場合、プリンタのバージョンをご確認の上、販売店経由で弊社までお問い合わせください。</p>
11-4-2	計量値の前の No. について	印字したい 印字したくない	<p>計量値の前の No.印字は、印字しないを選択可能です。</p> <p>1)プリンタの設定 ・計量ナンバ印字：“印字しない” [3=MODE NO. PRN NOT PRN / PRINT] <参照>本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧（設定項目“NO.PRN”）」</p> <p>2)天びん・はかりの設定 ・出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット”</p>
11-4-3		リセットしたい	<p>PRS 7 DEL キーを長押し（約2秒間）した後、ENT SAVE キーを押すことにより統計演算データを削除可能です。</p> <p><参照> 本書「6. 統計演算機能」の「6-1. 統計演算の印字例と印字内容」 ※統計演算データを削除を行うと、No. もリセットされます。 （次回 “No. 1” から印字）</p>
11-4-4	統計演算について	統計演算に使用するデータを一括削除したい	
11-4-5		統計演算を行いたい	<p>1)天びん・はかりの設定 ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット” ※天びん・はかりが、計量値を出力する際に、計量値以外の情報(日付・時刻や ID ナンバ等)を付加しないでください。</p> <p>2)プリンタの設定 ・印字モード：“外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」 ※統計演算に使用するデータは、電源を切っても記憶されています。リセットする場合は、統計演算データを削除してください。 <参照>本書「6. 統計演算機能」の「6-1. 統計演算の印字例と印字内容」</p>
11-4-6	GLP/GMP に対応した保守記録を印字したい		<p>1)天びん・はかりの設定 ・“GLP 出力を行う” 設定にしてください。</p> <p>2)プリンタの設定 ・印字モード：“ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」 ※GLP/GMP に対応した保守記録の印字は、プリンタの印字モードが“ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP]で行います。 ※統計演算を行う場合、プリンタの印字モードは“外部キー印字モード” (3=MODE PRN MODE / EXT.KEY) で使用しますので、GLP/GMP に対応した保守記録も印字する場合は、一時的に“ダンプ印字モード”に変更する必要があります。 ※印字モードを切り替えると統計演算に使用するデータは削除されますので注意してください(印字モードの切替前に、統計演算の結果の印字を行っておくなどの対応を行ってください)。 ※“外部印字モード”と“ダンプ印字モード”の切替は、ENT SAVE キーの長押しにより可能です。 <参照> 本書「5. キーの基本操作（基本動作）」の“ENT” キーの項目</p> <p>3)保守記録の印字 キャリブレーション(感度調整)など、天びん・はかりの操作により、保守記録のデータをプリンタに出力すると、プリンタは送られたデータを印字します。 ※必要に応じ、プリンタの印字モードを“外部キー印字モード”に戻します。</p>

No.	現象、ご要望		対応方法
11-4-7	日付・時刻について	日付・時刻を印字したい	<p>[1]_{TIME} キーを押すと時刻を、[2]_{DATE} キーを押すと日付を印字します。</p> <p>※日付・時刻の印字機能は、プリンタに内蔵されている時計を利用します。</p> <p>※プリンタの『パスワードロック機能』により、日付・時刻の設定を管理者のみに制限することも可能です。</p> <p><参照>本書「9. パスワードロック機能」</p>
11-4-8		計量値を印字する際に、日付・時刻を自動で印字したい	<p>可能です。</p> <p>1)天びん・はかりの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット” <p>2)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード: “外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字データ: “日付+計量値” [3=MODE PRN FOR. / TIME/WG] <p><参照>本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧 (設定項目 “PRN FOR”)」</p> <p>※日付・時刻の印字機能は、プリンタに内蔵されている時計を利用します。</p> <p>※プリンタの『パスワードロック機能』により、日付・時刻の設定を管理者のみに制限することも可能です。</p> <p><参照>本書「9. パスワードロック機能」</p>
11-4-9		日付・時刻の設定を変更したい	<p>[1]_{TIME} キーを長押しすると時刻の設定モードに、[2]_{DATE} キーを長押しすると、日付の設定モードに入ります。</p> <p>それぞれ設定モードにて、テンキーで日付・時刻を設定し、[TIME SET / SAVE? E] 表示で[ENT]_{SAVE} キーを押すと、設定した日付・時刻を記憶します。</p> <p>※プリンタの『パスワードロック機能』により、日付・時刻の設定を管理者のみに制限することも可能です。</p> <p><参照>本書「9. パスワードロック機能」</p>
11-4-10		統計演算結果に、日付・時刻を印字したくない	<p>可能です。プリンタの設定を以下にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演算印字: “演算印字に日付時刻なし” [3=MODE TOTAL MD / T/D NO] <p><参照>本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧 (設定項目 “TOTAL MD”)」</p>
11-4-11	計量値の印字方法	測定物を載せたら、キーを押さずに自動で印字したい	<p>可能です。</p> <p><参照> 本表「11-3. 故障かな?と思ったら」の「11-3-3 “2.計量値の変化により自動で計量値を印字したい場合”」</p>
11-4-12		プリンタのキーで印字したい	<p>可能です。</p> <p><参照> 本表「11-3. 故障かな?と思ったら」の「11-3-2 “2.プリンタのキー操作で計量値を印字したい場合”」</p>
11-4-13		非安定(安定マークが点灯していない状態)の計量値も印字したい	<p>可能です。プリンタの設定を以下にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非安定データ: “印字する” [3=MODE US PRN / PRINT] <p><参照>本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧 (設定項目 “US PRN”)」</p>
11-4-14		種類の異なるデータ(個数/質量/単位質量など)を出力すると、最初のデータしか印字しない	<p>プリンタの設定を以下にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード: “ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>※ダンプ印字モードでは、統計演算機能は使用できません。</p> <p>最初に出力されるデータで統計演算を行いたい場合は、プリンタのバージョンをご確認のうえ、販売店経由で弊社までお問い合わせください。</p> <p><参照>プリンタのバージョン確認: 本表「11-4. お困りの時は」の「11-4-17 ソフトウェアバージョンの確認方法」</p>

No.	現象、ご要望		対応方法
11-4-15	ID コード について	印字したくない	可能です。プリンタの設定を以下にしてください。 1)プリンタの設定 ・ID 印字: “印字しない” [3=MODE CODE PRN / NOT PRN] <参照>本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧 (設定項目 “CODE PRN”)」
11-4-16		使い方について	計量結果に関連する情報(製品名、ロット番号、測定者など)を予めプリンタに記憶させておき、必要な時に印字することができます。 ※  キーを押すと、ID コードを印字します。
11-4-17	ソフトウェアバージョンの確認方法		以下の方法で確認できます。 1)プリンタ本体右側の電源スイッチで、プリンタの電源をオフにします。 2)再度電源を入れると、ソフトウェアバージョンが、プリンタ表示部に一時的に表示されます。  (ソフトウェアバージョン表示) 上記の場合、ソフトウェアバージョンは、“V3.15(17/10/31)” となります。

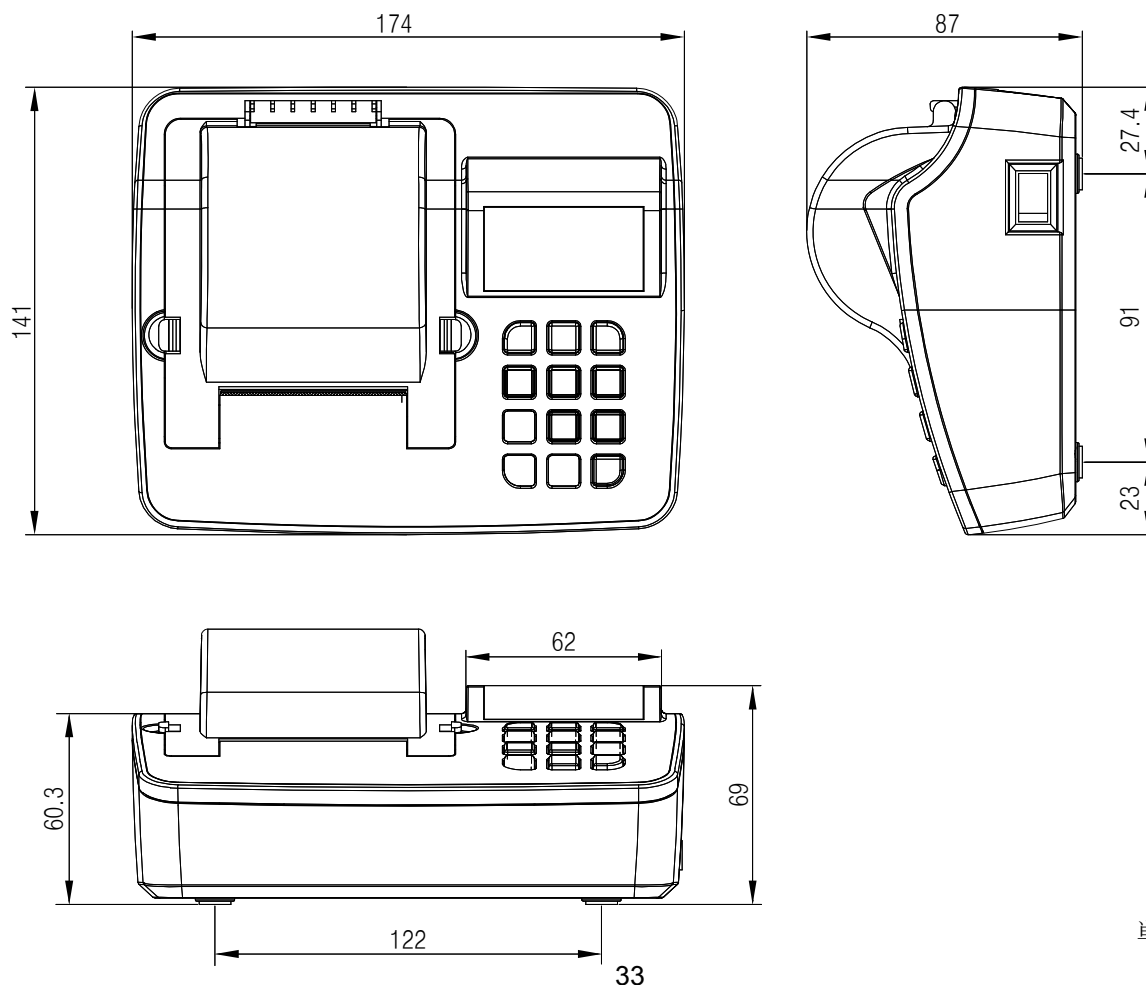
11-5. 修理依頼

本機の動作確認後解決しない不具合がある場合は、ご購入先等へお問い合わせください。
本機は精密機器なので輸送時には専用の梱包材を使用してください。

12. 仕様

印字方式	インパクト式ドットマトリクス
文字仕様	7ドット×9ドット 1.6 (W) × 3.2 (H) mm
印字速度	約 1.6 行/秒
紙送速度	約 4 行/秒
印字文字数	24 文字/行
使用温度範囲	0°C~40°C
使用湿度範囲	35%~85%RH (結露しないこと)
保存温度範囲	-20°C~60°C
保存湿度範囲	10%~90%RH (結露しないこと)
データ入力部	RS-232C、カレントループ
電源	ACアダプタ : AX-TB135, または AX-TB285 入力 : AC100V +10%、-15% 50/60Hz 消費電力 : 約 36VA (ACアダプタを含む)
外形寸法	174 (W) × 141 (D) × 87 (H) mm
本体質量	約 500 g
付属品	インクリボン(1個), プリンタ用普通紙(1巻), ACアダプタ, ACアダプタ識別シール, 取扱説明書, RS-232Cケーブル

12-1. 外形寸法図



単位：mm

12-2. 別売品

プリンタ用普通紙（10巻入り） AX-PP137-S

- 幅 57.5 mm×長さ約 30m の交換用普通紙です。

プリンタ用無塵紙（10巻入り） AX-PP173-S

- クリーンルームで使用可能な無塵紙です。
幅 57.5mm×長さ約 30m

インクリボン（5個入り） AX-ERC-22B-S

- 交換用インクリボンです。

RS-232Cケーブル（D-sub9ピン - 9ピン、1m） AX-K02741-100

RS-232Cケーブル（D-sub9ピン - 9ピン、2m） AX-K02466-200

RS-232Cケーブル（D-sub25ピン - 9ピン、0.9m） AX-K02116-090

RS-232Cケーブル（D-sub25ピン - 9ピン、2m） AX-K01710-200

RS-232Cケーブル（DIN - D-sub9ピン、2m） AX-K01786-200

カレントループケーブル（DIN - D-sub9ピン、1m） AX-K05291-100

ブルートゥースコンバータ（プリンタ接続用） AD-8529PR-W

- 計量器とプリンタを最大 10m までワイヤレス（Bluetooth®）で接続します。

フットスイッチ AX-SW128

- 外部入力コネクタに接続することで、内部設定「機能設定 (FUNCTION)」の「外部入力 1 (EXT IN1)」、「外部入力 2 (EXT IN2)」で割り当てた機能を実行できます。